NIE実践報告

1．タイトル：新聞は生きた教材

2．学校名

兵庫県神戸市立西舞子小学校

3．実践者名（代表者名）

坂本　秀男

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　28人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞は情報の玉手箱

7．目標（狙い）

新聞から自分の興味関心に応じた記事を選び、その記事の内容を読んで理解し、友達に要旨を伝える。

8．評価の視点

記事の内容を理解し、要旨をとらえ、相手にわかりやすいように伝えることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

新聞は情報の玉手箱(聞く・話す)3時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①新聞を一人一部配り、その中から自分が興味関心を持つ記事を選ぶ。(1時間目)
(この際に、新聞が様々な「面」から構成されていることを確認し、自分の読みたいジャンルの記事がどの辺りにあるのかを学ぶ。)

②前時で選んだ記事をワークシートに貼り付けて、その記事を選んだ理由について書き込む。その後、グループ(4人)の中で互いの記事を紹介しあう。(2時間目)

③グループ内で話し合い、その中で一つの記事を代表が全体に発表する。その後、感想を述べ合う。(3時間目)

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「こんな記事があったんだ。」「あの子はこんなことに興味があるんだ」と子どもたち同士が話し合いの中で、触発することができていた。

12．成果と課題

新聞がたくさんの情報を有していて、それを活用することで、様々なことを知ることができることを学べた。今後も新聞を教育活動の中で活用していくようにしていきたい。